

## 平成30年度 地域・職域連携推進関係者会議プログラム

日 時 : 平成30年6月14日(木) 10:00~16:30

会 場 : 三田共用会議所(東京都港区三田2-1-8)

テーマ : 健康課題の解決に向けた連携体制の構築の推進に向けて

| 時 間  | 議 題  | 説明者   |
|--|--|---|
| 10:00~10:05<br>5分  | 挨拶   | 厚生労働省 健康局長  |
| 10:05~10:15<br>10分   | 【行政説明】<br>地域・職域連携推進事業について  | 厚生労働省 健康局 健康課 保健指導室   |
| 10:15~10:25<br>10分   | 【行政説明】<br>治療と職業生活の両立支援についての取り組み  | 厚生労働省 労働基準局 安全衛生部<br>労働衛生課 治療と仕事の両立支援室  |
| 10:25~10:30<br>5分  | 【講演】<br>神奈川産業保健総合支援センターの取り組み   | 神奈川産業保健総合支援センター<br>所長 渡辺 哲 氏  |
| 10:30~10:40<br>10分   | 【行政説明】<br>保険者による予防・健康づくりの推進に向けて  | 厚生労働省 保険局 医療介護連携政策課<br>データヘルス・医療費適正化対策推進室   |
| 10:40~11:40<br>60分   | 【講演】<br>地域・職域連携で取り組みたい健康課題の明確化と連携事業の企画について   | あいち健康の森健康科学総合センター<br>センター長 津下 一代 氏  |
| 11:40~12:45<br>65分   | 昼 休 憩  |   |
| 12:45~14:35<br>110分<br><br>(20分)<br><br>(20分)<br><br>(20分)<br><br>(15分)<br><br>(30分) | <b>【シンポジウム】</b><br>(事例発表)<br>地域保健及び職域保健における健康課題の共有化と連携事業企画に向けての取り組み<br>① 健康課題の共有化における愛知県の取り組みと二次医療圏との役割分担・連携について<br>~「特定健診・特定保健指導情報データを活用した分析・評価事業」を活用して~<br>② 事業企画における都道府県協議会及び市町村等関係機関との連携について<br>~課題解決に向けて大切にしたこと、工夫したこと~<br>③ 地域・職域連携の取り組み及び商工会との連携について<br>④ 治療と仕事の両立支援アンケート調査結果について<br>(ディスカッション) | コーディネーター<br>国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 副学部長/<br>看護学科 学科長/教授 荒木田 美香子 氏<br>愛知県津島保健所 健康支援課<br>課長補佐 岩田 はるみ 氏<br>愛知県清須保健所 総務企画課<br>主任 神谷 ともみ 氏<br>全国健康保険協会 愛知支部 企画総務部 保健グループ<br>主任 鈴木 祐子 氏<br>愛知労働局 健康課<br>課長 浅井 俊章 氏<br>事例報告者<br>コーディネーター |
| 14:35~14:50<br>15分   | 休 憩  |   |
| 14:50~16:20<br>90分<br><br>(75分)<br><br>(10分)<br><br>(5分)                             | <b>【グループワーク】</b><br>(グループディスカッション)<br>健康課題の明確化と連携事業の実施に向けて<br>① 健康課題の解決に向けた連携体制の実情と課題について<br>② 健康課題を解決するために必要な連携体制について<br>(発表)<br>(まとめ)  | コーディネーター/まとめ<br>国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 副学部長/<br>看護学科 学科長/教授 荒木田 美香子 氏   |
| 16:20~16:30<br>10分   | アンケートの記入   |   |